

どっと繰り出した人の波

実り収穫も喜び 農業祭

カラオケでは30人が熱唱

11月23日、さわやかな秋空の下で、第11回町農業祭が開かれました。

今年は会場を文化会館に移し、繰り出した3千人を超す人々は、新鮮な野菜や肉の販売、福祉バザール、焼そば・焼鳥、試飲コーナーなどに集中しました。例年人気の高い、つきだてのモチや苗木の無料配布には、今年も長蛇の列ができていました。

また、特設ステージで行われたカラオケ大会には、飛び入りも含めて30人の方が参加。大観衆の前で自慢ののどを披露して、盛んな拍手を浴びていました。

年々盛大さを増す農業祭——豊作に恵まれた今年は、ひととき活気に満ちあふれていました。



会場を埋め尽くした人、人、人……ネギと白菜が飛ぶように売れていました



いかにも農業祭らしく、花よりダイコンで熱唱



「おばあちゃん、ぼくおもち全部食べられるから、大丈夫だよ」



お買得品がタップリ、お母さんはニコリ



安くて、ボリュームたっぷりの肉は人気上々!



農業祭の当日、長年にわたって町農業の発展に貢献された、次の方々が表示されました。

(敬称略)

- 農業賞 齊藤知三(栗山)
- 農業功労賞 石橋まさ(三島) 長沢幸吉(栗山)

また、福祉バザールでの売上げと会場で寄せられた善意、合計六万七千四百円は、アフリカ飢餓救援募金として寄付されました。